

御礼

秋季審査会におきまして、昇段試験受験のご許可と審査をして頂き誠に有難うございました。西国柳生新影流兵法錬心館の門を叩き二年の歳月が経ちました。東京からの単身の身、数年後には帰京しなくてはならない事もあり、入門当初より二年で初段を受験する事が大きな目標でもあり、修行を重ねてまいりました。しかしながら、本年六月下旬より原因不明の膝故障により、思うように稽古が出来ず、正直「受験の断念」「休会」を考えた時期もございました。悩んだ時が続きましたが、「起てた目標を諦めずに最後まで全うする思い」と「館長・師範の真剣なご指導」「錬心館門下生諸先輩・同じく稽古を共にする皆さんの励まし」が私の背中を押して下さいました。お陰様で、初段審査合格と云う当面の目標を達成することが出来ました。改めて御礼申し上げます。

初段合格を頂きましたが、稽古不足は否めず納得のいく内容には程遠い演武であったことは一年前に進級審査受験した時の自信とは大きく違い、日々の努力・修行がいかに大切か改めて実感した次第です。やっと柳生新影流の門を叩く処にたどり着きましたが、「基本の斬り業・突き業」を大切にし、業の修行を継続するとともに新たな業の習得に今後も努力して参りたいと思います。

平成三十年記念福岡県武道大会と云う大きな行事が終わって間もなくの審査会、館長・師範共にお忙しい中、本当に有難うございました。今回、初段と云う目に見える目標を達成いたしました。それ以上にこの二年間で経験させて頂きました数々の演武会は、今までの生活で到底経験出来るものではありません。今後も新たな目標を立て、様々な経験を積ませて頂きたいと思えます。

今後とも御指導の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。

平成三十年十二月二日

志村一幸